

「脳炎・脳症に対する未知の自己抗体およびその標的抗原の探索」について

1. 研究の対象

2018年11月7日以降に「精神・神経疾患における神経伝達物質受容体に対する自己抗体の研究」にご参加いただいた方のうち、原因が明らかにならなかった脳炎・脳症の患者さん

同じく上記研究にご参加いただいた方のうち、特定の自己抗体の存在が明らかになった患者さんも、本研究の精度確認のため対象とさせていただきます

一酸化炭素中毒で当センター精神科に入院した患者さん

過去に当センターの脳神経内科で治療を受け、自己免疫性脳炎が疑われたが原因となる自己抗体が明らかにならなかった患者さん

2. 研究目的・方法

原因が明らかにならない脳炎・脳症の患者さんのうちの一部は、脳に対する未知の自己抗体が原因である可能性が考えられます。そこで、人間の脳と抗原性がほぼ同じと考えられるマウスの脳を用いて、脳に対する抗体を探索します。もし抗体が見つければ、その抗体の標的物質（抗原）を同定し、その抗体が病気の原因となっているかどうかを検討します。

脳に対する抗体を探索する実験は、共同研究者である多田敬典（至学館大学）と福森亮雄（大阪医科薬科大学）が行います。

研究期間：2020年10月7日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、髄液

情報：患者さんの基本情報：年齢、性別

疾患情報：疾患名、病状と経過、血液・髄液検査結果、画像検査結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、その患者さんについては研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56 大阪急性期・総合医療センター精神科

研究責任者：精神科応援医師（前主任部長） 松永秀典 電話 06-6692-1201
内線 2255